

木材ジャーナル名古屋・世ふ

令和7年1月号 No.212

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

二〇二五年
頌春



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

みちしるべ



2025年 新年の干支「乙巳 (きのとみいっし)」に思う

－ 復活や再生を繰り返しながら努力を重ね物事を安定させていく年!! －
価値創出を実現する「働き方改革」の実践を！

名古屋木材組合
組合長 西垣 洋一

新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は皆様には、組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

2025年の干支は、「乙巳」になります。「乙」は十干における2番目の文字で、陰陽五行説では「陰の木」に属します。自然界では、成長過程にある若木や柔軟でしなやかな草木を表し、新たな変化の始まりを意味します。「巳」は十二支の6番目の文字で脱皮をする蛇のイメージから「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力につながる縁起のいい動物と考えられています。又、「巳」という漢字は胎児の形に由来しており、「未来の種を育む」という意味もあります。これらを合わせて考えると、2025年の干支、「乙巳」は、復活や再生を繰り返しながらも、努力を重ね物事を安定させていく年とされています。

現在の世界情勢は、今なお続く各地の紛争、異常気象、インフレ等、世界中が揺れ動いており、混沌と混乱の時代を迎えています。先行きとしては二度目のトランプ政権の政策に左右される年と言え、インフレ沈静化に伴う利下げ継続により緩やかな成長トレンドが続くと予測される一方、トランプ氏が掲げる「米国第一」の政策において、追加関税を筆頭に世界経済に大きな影響を及ぼすとみられます。今後為替が円安で動くとなると輸入物価の上昇を招き、日本のインフレを再加速させる懸念があるなど、日本を含めた世界全体の秩序が大きな転換期を迎えています。

翻って我々木材・住宅業界においては、円安等による住宅価格の高騰で、新設住宅着工数の停滞・減少が続いており、特に木材需要の柱となる持家住宅の長い低迷期が続いています。おそらく2024年度の総着工数は2009年度以来の70万戸台へと突入し、賃貸やマンションが失速すれば、80万戸を大きく割り込むことも考えられます。これに伴い、木材の需要も落ち込んでおり、ウッドショック以降、供給力強化、在庫強化に取り組んできた木材業界は、需要不足の長期化にあえぎ、人件費、電気代・物流費等のコスト増大等を価格転嫁できないでいることなどで再び苦境に立っています。そのため各建材メーカーが今後ますますの値上りをしていく反面、木材価格は乱高下しており、今後は需給バランスを考えながら徐々に適正価格へと値上げを進めていかなければなりません。そして、原価上昇+人件費増⇒価格転嫁(価値転嫁)⇒値上げ⇒売上増⇒人件費増といったインフレの好循環をいかに回すかが木材業界の今後の課題となります。

又、こうしたインフレ状況が続く中では「賃金と物価」並びに「成長と分配」の好循環が必要であり、物価の影響を考慮した実質賃金の賃上げが必要となります。政府としても成長分野への投資促進、構造的賃上げに向けた環境整備、地方創生の推進など生産性向上につながる政策を重視する方針を示しており、我々業界としても「働き方改革」の更なる推進を進めていかなければなりません。只実態としては2024年4月から建設業・物流業にも時間外労働の上限規制が適用され、残業時間の削減に苦慮する企業が増えています。あらゆる業種で「働き方改革」が進められる中、その推進状況には格差があると言え、労働環境の改善や生産性の向上など抜本的な「働き方改革」の推進は待ったなしです。「働き方改革」というと、どうしても長時間労働の抑制や休日の増加といった労働時間の管理を考えがちですが、その本質は現在の業務の在り方を変え、短期間で高い価値を創出するための全社的な変革です。

2025年は「復活と再生の年」であり、木材・住宅業界としても本年の干支の「乙巳」が示すように、業界を取り巻く環境変化(改正建築基準法:4号特例見直し・構造規制の合理化、改正建築物省エネ法:省エネ基準適合義務化等)に対応しながらも、業界の復権(復活)に向けた飛躍の年にしたいものです。最後になりますが、皆様のご健康と事業発展を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年にあたり



名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は木産協の活動について大変お世話になりありがとうございました。

一昨年より住宅着工の低迷が続き、木材業界を取り巻く需要環境は厳しい状況が続いていますが、10月以降は若干の回復傾向がみられました。

一時的に着工が多少増えることはあっても、トレンドとしては住宅着工数が減っていくことを覚悟しなければなりません。

一方で企業として、成長することが賃上げや福利厚生を充実させる原資となります。全体のパイが縮小する中でどのようにして会社を成長させ、社員を幸せにしていくのかという経営方針はそれぞれ異なりますが、過度な価格競争によるシェア拡大競争は不毛であると思います。また、ウッドショックが終わって以降の木材価格は非常に安く、住宅価格の上昇の要因はもはや木材価格の高騰によるものではないことを住宅購入を考えている方にも知っていただかなければなりません。

さて、当協同組合では臨海地帯に立地する木材関連企業と飛島村・弥富市。名古屋港管理組合とを結ぶ連絡窓口としての役割を果たしています。

さらに木産協の事務局は名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会の事務局も兼ね、木材団地のみならず、西部臨海地帯の代表として重要な役割を担っています。

当組合は臨海地域が安全であること、清潔であること、そして更なる利便性向上を目指すために欠かせない要望などの活動を地道にしていることをご理解いただきたく存じます。

これからも立地企業の皆様のお役に立てるよう努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中は名古屋木材組合・名古屋港木材産業協同組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

名古屋木材組合 事務局
名古屋港木材産業協同組合 事務局

名古屋港西部臨海地帯の環境改善と安全のため飛鳥村長と懇談

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会及び西部臨海工業地帯防犯協会（共に会長は服部伸一木産協理事長）は、令和6年12月12日に飛鳥村公民館分館で、飛鳥村長始めとして国土交通省名古屋国道事務所、蟹江警察署、名古屋港管理組合との懇談会を開催し、ゴミの収集ポストの集約、ドリフト族の取締り、左折・右折信号機の設置要望、街路樹の剪定、雑草の除草などについて話し合われました。詳細については別途報告します。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

タイヤの盗難が多発中!

自宅や会社の敷地内に保管されているタイヤの盗難が多発しています。周囲から見えない場所に保管する、盗難防止用チェーンを取り付ける、保管場所にセンサーライトをつける等の対策を行いましょ。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Advertisement for INOUE, featuring a large industrial dust collector. Text includes 'Technology for Clean Air & Bulk Handling', 'INOUE', '集塵装置の省電力・安全', '木質バイオマスの利活用', and 'ご提案します!!'. Contact information for Inoue Electric Co., Ltd. is provided at the bottom.

Advertisement for a living room and bathroom renovation project. It features a photo of a modern bathroom and text: '家族の心まで温めたいから。', 'リビング バスルーム', and '快適空間としての機能や使い勝手は当然揃えながら、「いいね」や「サプライズ」が詰まった心まで満たせるバスルームが誕生'. Includes a QR code and social media icons.

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 服部伸一
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会